

平成 27 年上半期における労働災害発生状況（速報値）

～死傷者数は 942 人で 4 年連続の増加、死亡災害は大幅に増加～

長野労働局（局長 岡崎直人）では、長野県における平成 27 年 1 月～6 月の労働災害発生状況（速報値）を取りまとめましたので、公表します。

平成 27 年 8 月上旬、長野県内において熱中症が原因と考えられる死亡災害が発生しました。県内の事業場に対して高温多湿作業場所での熱中症予防対策の取組を呼びかけています。

■ 労働災害発生状況の概要

● 死傷災害発生状況

➢ 休業 4 日以上¹の死傷者数（死亡災害を含む。）、増加率ともに前年を上回る【図 1】

- ・ 全産業の死傷者数は 942 人で、前年に比べて 9 人（1.0%）増加し、4 年連続の増加

➢ その他の業種（主に第三次産業）、林業で増加【図 2】

- ・ 増加した業種は、「その他業種（主に第三次産業）」が 443 人（前年比 36 人、8.8%増）、「林業」が 29 人（同 2 人、7.4%増）

➢ 転倒災害が最も多いが、件数、割合ともに前年を下回る【図 3】

- ・ 「転倒災害」が 256 人（前年比 59 人、18.7%減）で構成比 27.2%（前年比 6.6 ポイント減）、機械等による「はさまれ・巻き込まれ災害」が 140 人（同 10 人、7.7%増）で構成比 14.9%（同 1.0 ポイント増）、「高所からの「墜落・転落災害」が 134 人（同 10 人、8.1%増）で構成比 14.2%（同 0.9 ポイント増）、動作の反動・無理な動作（腰痛等）」が 77 人（同 18 人、18.9%減）で構成比 8.2%（同 2.0 ポイント減）

● 死亡災害発生状況

➢ 死亡者は 5 人の増加【図 4、図 5】

- ・ 全産業の死亡者数は 10 人となりました

■ 今後の取組方針

- 第 1 2 次労働災害防止推進計画の目標達成に向けて、関係団体との連携・協働により効果的な取組を強化します。
- 信州・危険の「見える化」推進運動の更なる定着を進めるため、危険の「見える化」の好事例の収集、「安全宣言」活動の奨励などの取組を積極的に推進します。
- 墜落・転落災害やはさまれ・巻き込まれ災害など重篤度の高い災害のほか、すべての業種に共通する課題である転倒災害や交通労働災害にも重点的に取り組みます。

◇ 平成 27 年上半期（6 月末速報値）における労働災害発生状況（長野労働局ホームページ参照）

◇ 長野県における第 1 2 次労働災害防止推進計画（長野労働局ホームページ参照）

◇ 危険有害性の「見える化」等の普及促進を目指して（長野労働局ホームページ参照）

◇ 「STOP！転倒災害プロジェクト 2015」（厚生労働省ホームページ参照）

（<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/tentou1501.html>）

◇ 熱中症予防対策（厚生労働省ホームページ参照）

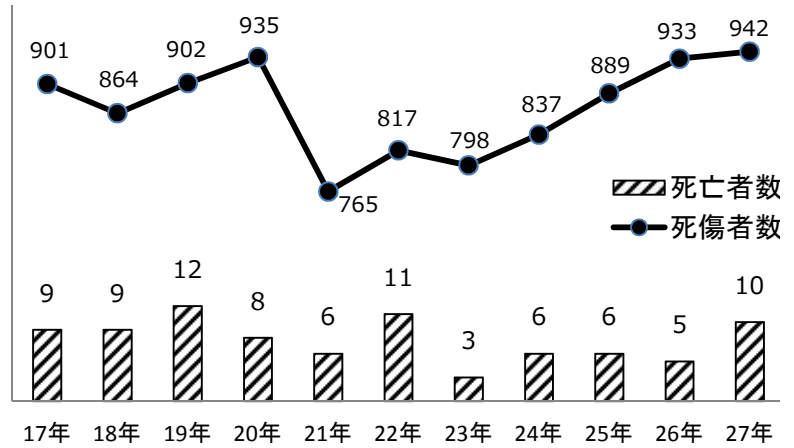
（http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/enzen/anzeneisei02.html）

1 労働災害の推移

平成 27 年上半期の労働災害による休業 4 日以上之死傷者数（死亡を含む。）は 9 4 2 人で、前年に比べて 9 人（1.0%）増加し、平成 23 年から 4 年連続の増加となりました。

死亡者数は 1 0 人で、前年に比べて倍増しています。

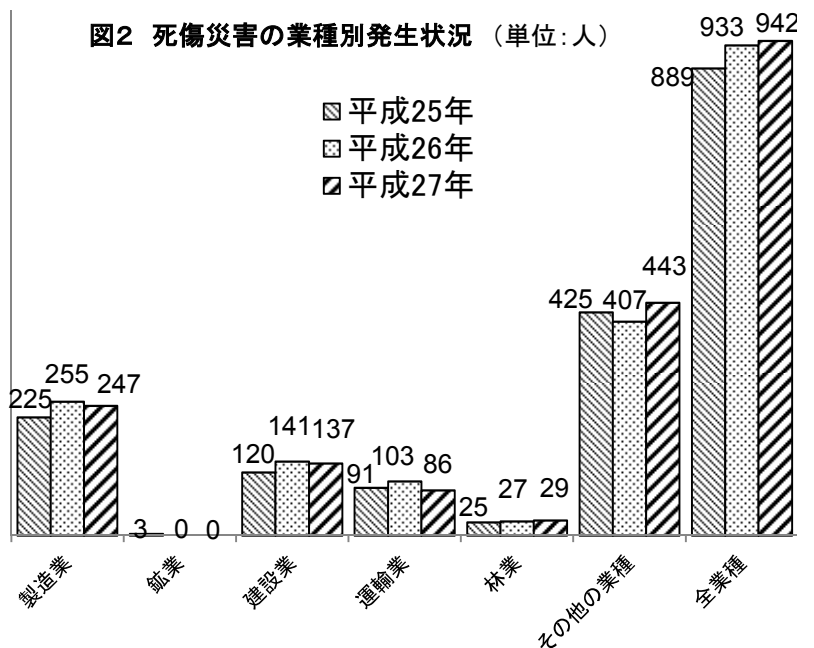
図1 労働災害の推移（単位：人）



2 死傷災害の業種別発生状況

休業 4 日以上之死傷者数は、前年と比べて「その他の業種（主に第三次産業）」、「林業」で増加しています。

図2 死傷災害の業種別発生状況（単位：人）

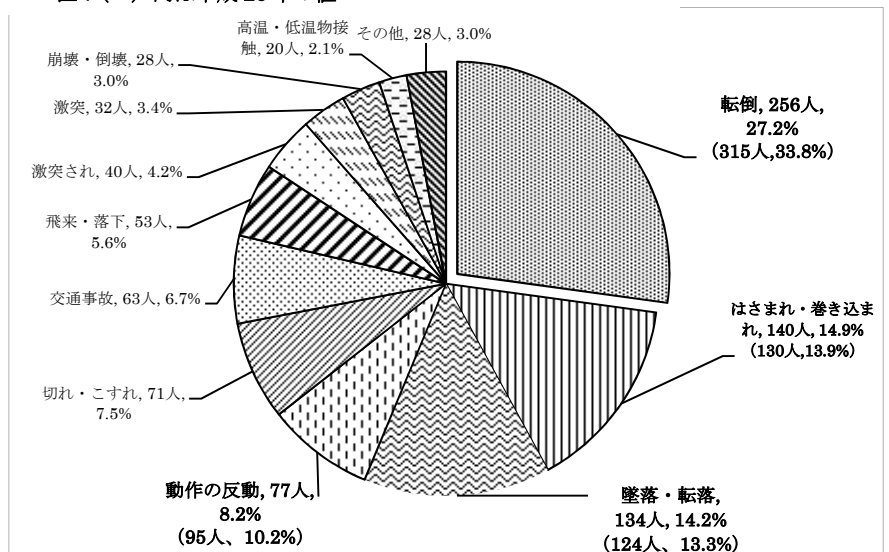


3 死傷災害の事故の型別発生状況

「転倒災害」が 2 5 6 人で構成比 27.2%、機械等による「はさまれ・巻き込まれ災害」が 1 4 0 人で構成比 14.9%、高所からの「墜落・転落災害」が 1 3 4 人で構成比 14.2%、動作の反動・無理な動作（腰痛等）が 7 7 人で構成比 8.2%となっています。

図3 事故の型別構成比（平成 27 年 上半期）

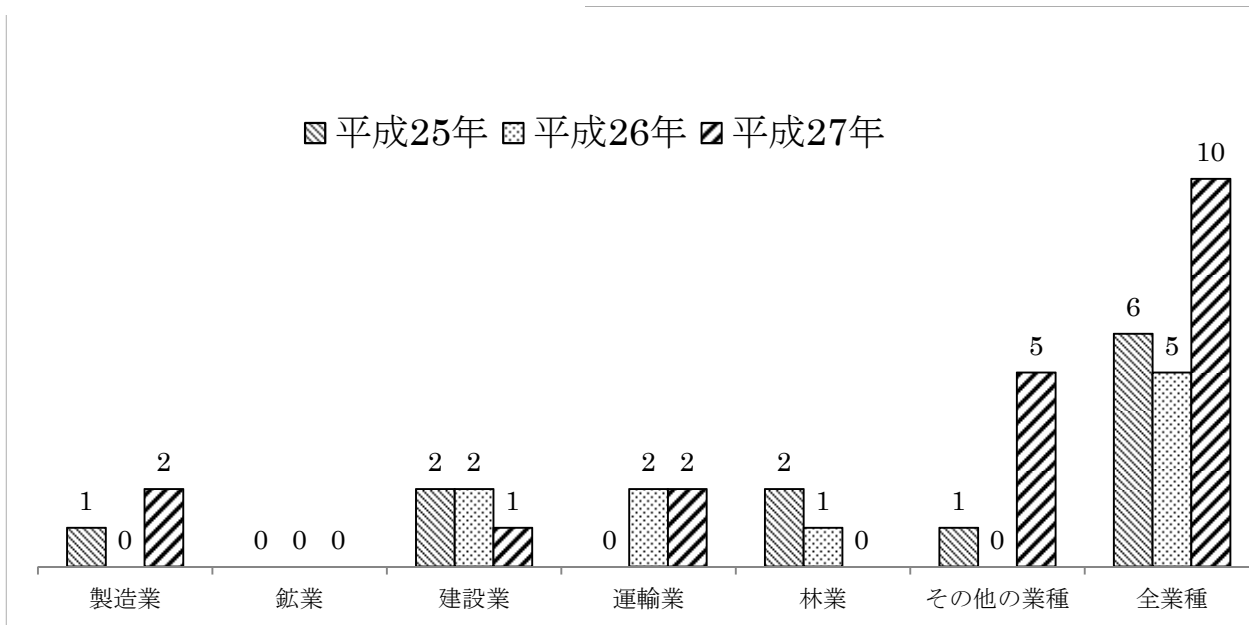
注：（ ）内は平成 26 年の値



4 死亡災害の業種別発生状況

死亡者数は10人で、前年と比べ5人の増加となっています。業種別の状況を見ると、「製造業」が2人で前年に比べて2人増加したほか、建設業が1人（前年比1人減）、運輸業が2人（前年と同じ）となっています。また、その他の業種では5人（前年比5人増）となっています。

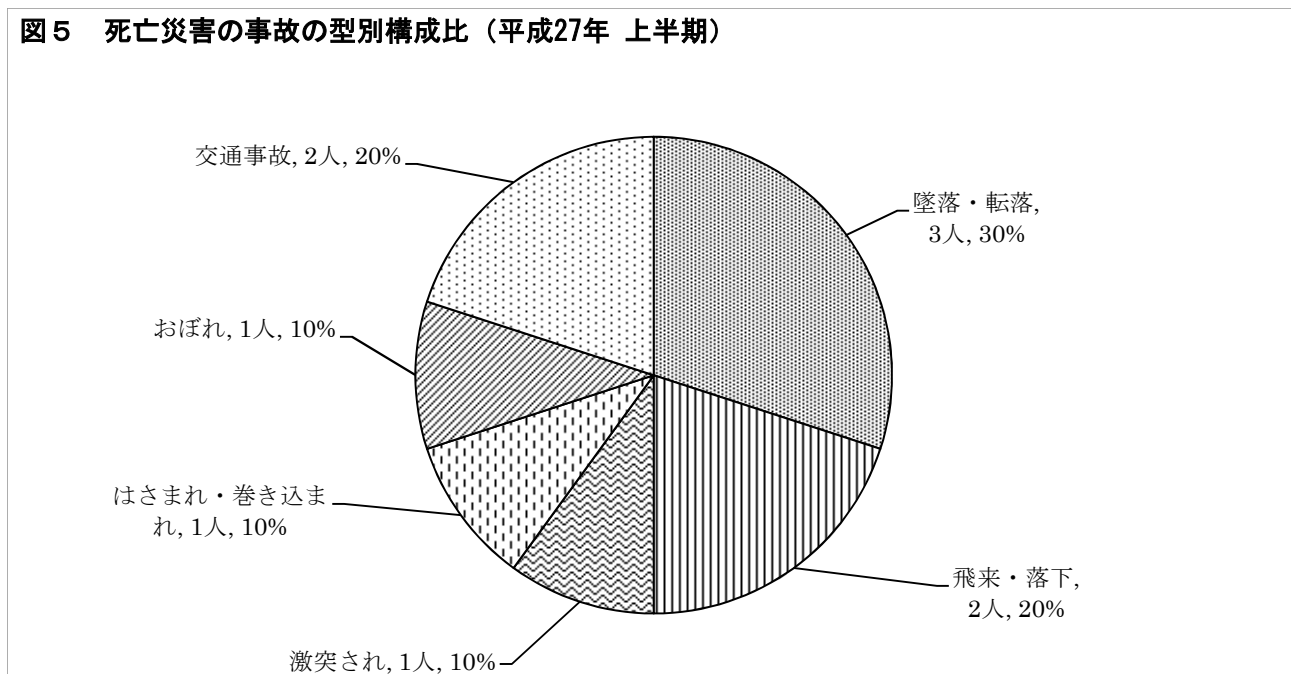
図4 死亡災害の業種別発生状況(単位:人)



5 死亡災害の事故の型別発生状況

死亡災害の事故の型別の状況を見ると、「墜落・転落」が3人、「飛来・落下」、「交通事故」が2人、「激突され」、「はさまれ、巻き込まれ」及び「おぼれ」がそれぞれ1人となっています。

図5 死亡災害の事故の型別構成比(平成27年 上半期)



平成27年 労働災害発生状況 (6月末現在速報)

資料 1

長野労働局

区 分	業 種	休業4日以上之死傷災害					死亡災害				
		平成25年	平成26年	平成27年	対前年増減		平成27年 構成比(%)	平成25年	平成26年	平成27年	対前年 増減件数
					件数	増減率(%)					
製 造 業	食 料 品 製 造 業	71	78	87	9	11.5	9.2	0	0	0	0
	繊維・繊維製品製造業	1	1	1	0	0.0	0.1	0	0	0	0
	木材・木製品、家具・装備品製造業	12	17	12	▲ 5	▲ 29.4	1.3	0	0	0	0
	パルプ・紙・紙加工品製造、印刷製本業	14	9	3	▲ 6	▲ 66.7	0.3	0	0	0	0
	化 学 工 業	4	17	14	▲ 3	▲ 17.6	1.5	0	0	0	0
	窯業・土石製品製造業	12	11	12	1	9.1	1.3	0	0	1	1
	鉄鋼・非鉄金属製造業	11	5	10	5	100.0	1.1	0	0	0	0
	金属製品製造業	26	34	38	4	11.8	4.0	0	0	0	0
	一般機械器具製造業	29	28	24	▲ 4	▲ 14.3	2.5	1	0	0	0
	電気機械器具製造業	24	19	16	▲ 3	▲ 15.8	1.7	0	0	0	0
	輸送用機械器具製造業	11	13	10	▲ 3	▲ 23.1	1.1	0	0	1	1
	電気・ガス・水道業	0	0	0	0	-	0.0	0	0	0	0
	その他の製造業	10	23	20	▲ 3	▲ 13.0	2.1	0	0	0	0
	小 計	225	255	247	▲ 8	▲ 3.1	26.2	1	0	2	2
鉱 業	3	0	0	0	-	0.0	0	0	0	0	
建 設 業	土 木 工 事 業	34	51	42	▲ 9	▲ 17.6	4.5	1	1	0	▲ 1
	建 築 工 事 業	70	64	78	14	21.9	8.3	1	1	1	0
	内数(木造家屋建築工事業)	31	30	29	▲ 1	▲ 3.3	3.1	1	0	0	0
	その他の建設業	16	26	17	▲ 9	▲ 34.6	1.8	0	0	0	0
	小 計	120	141	137	▲ 4	▲ 2.8	14.5	2	2	1	▲ 1
運 輸 業	道路貨物運送業	50	62	49	▲ 13	▲ 21.0	5.2	0	1	1	0
	その他の運輸交通業	40	41	35	▲ 6	▲ 14.6	3.7	0	1	1	0
	陸上貨物取扱業	1	0	2	2	-	0.2	0	0	0	0
	小 計	91	103	86	▲ 17	▲ 16.5	9.1	0	2	2	0
林 業	25	27	29	2	7.4	3.1	2	1	0	▲ 1	
その他の業種	卸売業又は小売業	115	112	141	29	25.9	15.0	0	0	1	1
	保健衛生業	92	88	78	▲ 10	▲ 11.4	8.3	0	0	0	0
	旅館その他の宿泊所の業	33	33	32	▲ 1	▲ 3.0	3.4	0	0	0	0
	ゴルフ場の事業	6	5	6	1	20.0	0.6	0	0	0	0
	ビルメンテナンス業	24	18	13	▲ 5	▲ 27.8	1.4	0	0	0	0
	警 備 業	10	7	8	1	14.3	0.8	0	0	0	0
	そ の 他	145	144	165	21	14.6	17.5	1	0	4	4
	小 計	425	407	443	36	8.8	47.0	1	0	5	5
合 計	889	933	942	9	1.0	100.0	6	5	10	5	

平成27年 業種、事故の型別 労働災害発生状況 (6月末現在速報)

長野労働局

事故の型 業種	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	合計
全産業	134	256	32	53	28	40	140	71	1	1	20	5	0	0	1	0	63	0	77	20	0	942
(構成比)	14.2%	27.2%	3.4%	5.6%	3.0%	4.2%	14.9%	7.5%	0.1%	0.1%	2.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	6.7%	0.0%	8.2%	2.1%	0.0%	100.0%
製造業	19	50	7	15	10	4	83	21	0	1	12	3	0	0	1	0	4	0	16	1	0	247
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	41	12	6	16	5	9	16	17	1	0	0	1	0	0	0	0	4	0	8	1	0	137
運輸・貨物取扱業	17	27	6	5	3	1	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	8	0	0	86
林業	4	1	2	3	2	10	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	29
その他	53	166	11	14	8	16	29	28	0	0	8	1	0	0	0	0	47	0	45	17	0	443

平成27年 業種、事故の型別 死亡労働災害発生状況 (6月末現在速報)

長野労働局

事故の型 業種	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	合計
全産業	3			2		1	1			1							2					10
(構成比)	30.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
製造業							1			1												2
鉱業																						
建設業	1																					1
運輸・貨物取扱業	1			1																		2
林業																						
その他	1			1		1											2					5

平成27年上半期における死亡災害事例

資料 4

整理番号	発生日	事業の種類	事故の型 起因物	災害の概要
1	1月	鉄道・軌道業	墜落、転落 その他の 乗り物	リフトの点検及び始動をするため、スノーモービルで初心者コースを移動中、斜面でバランスを失い、約10m転落した。
2	1月	その他の事業 (その他)	墜落、転落 はしご等	高さ約4メートルの屋根の雪おろしをするため、はしごを登っていたところ、梯子が滑って倒れ、労働者が梯子から転落した。
3	1月	その他の事業 (その他)	交通事故 乗用車、バス、 バイク	高速道路を走行中、インターチェンジで降りようとしたところ、高速道路本線と出口分岐路の間にある分岐点のクッションドラム(緩衝材)に労働者が運転する乗用車が衝突し、その反動でガードレール及び街灯に運転席から激突した。
4	1月	その他の 建築工事業	墜落、転落 屋根、はり、も や、けた、合掌	個人住宅の解体工事現場において、2階の屋根上で瓦おろし作業を行っていた労働者が墜落した。
5	2月	その他の小売業	交通事故 トラック	高速道路において、測量のため、労働者2名が専用車両に乗車し、走行しながら、計測していたところ、後続の大型貨物自動車に追突され、助手席に乗っていた労働者が頭を強く打ち死亡した(運転していた同僚も全身を強く打ち負傷)。
6	2月	産業廃棄物 処理業	飛来、落下 フォークリフト	サイドクランプを装着したフォークリフトで鉄製コンテナを運搬し、中身を出すためにコンテナを傾けたところ、サイドクランプからコンテナが外れ、近くで分別作業を行っていた労働者が下敷きとなった。
7	3月	輸送用機械等 製造業	はさまれ、 巻き込まれ コンベア	造形ラインに鑄物砂を供給するベルトコンベヤーの下部にあるシュート(砂受け台)に上がり作業をしていたところ、ベルトコンベヤーのベルトとローラーの間に全身を挟まれた。
8	4月	産業廃棄物 処理業	激突され 移動式 クレーン	車両積載型トラッククレーンを使用して資材置場に荷(約800kg)を降ろすためつり上げて旋回したところ、当該トラッククレーンが横転し、操作していた労働者が下敷きとなった。
9	5月	窯業土石製品 製造業	おぼれ 水	砂利の原石を採取する現場において、河川の伏流水による湧水が貯まっていた掘削した穴にドラグショベルが水没し、操作していた労働者が溺死した。
10	5月	道路貨物運送業	飛来、落下 移動式 クレーン	道路脇に置かれたコンクリート製電柱を運搬するため、移動式クレーンでつり上げたところ、玉掛用ワイヤーロープがフックから外れて電柱が落下し、近くにいた労働者がその下敷きとなった。